

「エリアマスターになろう！」～障地取りゲームをしよう～ (面積)

本単元で育成する資質・能力

「主体性」「論理的思考力」「自己理解」「自らへの自信」

1 日 時 平成 29 年 10 月 27 日 (金)

2 学 年 第 4 学年 10 名 (男子 9 名, 女子 1 名)

3 単元観

本単元は、学習指導要領内容B量と測定(1)「面積について単位と測定の意味を理解し、面積を計算によって求めることができるようにする。」を受けて設定したものである。

第1学年「大きさ比べ(2)」の学習をふまえ、第4学年では面積について、単位と測定の意味を理解し、正方形および長方形の面積の求め方を学習する。この学習を受けて第5学年では、対象を三角形、一般の四角形、平行四辺形、台形、ひし形に広げ、求積公式を拡大していく。

本単元の「単元をつらぬくアイデア(本質)」は、「**面積は、単位面積のいくつ分か**」であると考えている。面積の求め方を、具体物を用いたり、式・図・言葉を用いたりして考え説明することや、身の回りにあるものを実際に測定するといった算数的活動を合わせて行う。

本単元で、身の回りにある様々なものの面積を実際に測定する活動を通して、単位の大きさに対する量感を養うとともに、必要に応じて適当な面積の単位を用いることの利便性に気付かせることで、面積の学習が日常生活において有効であることを実感できる学習であると考えている。

4 児童観

児童の資質能力の実態を把握するため、質問紙調査を行った。

資質・能力	質問紙調査	結果(人数)			
		とても そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
主体性	授業では、解決しようとする課題について「なぜだろう。」「やってみたい。」と思います。	4	4	2	0
論理的思考力	授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝わるように発表を工夫しています。	2	7	0	1
自己理解	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか。」「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	3	4	3	0
自らへの自信	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	8	1	1	0

質問紙調査の結果から、本校の設定する資質能力に関しては、半数以上が肯定的な回答が見られたが、「論理的思考力」や「自己理解」、「自らへの自信」については否定的な回答も見られた。

また、本単元を学習する前に行ったレディネステストを行った。

番号	内容	正答率
1	図形の広さを直感で比較できる。	80%
2	直接比較の考え方をを用いて広さを比較できる。	80%
3	任意単位の考え方をを用いて広さを比較できる。	80%
4	長さを与えられた長方形、正方形の広さを比べることができる。	40%

レディネステストの結果から、直接比較や任意単位で広さの比較をすることができる児童が多いことが分かる。しかし、縦と横の長さが分かっている長方形と正方形の広さを比較する問題については、どちらが広いかを正解した児童は4割いたが、その理由を書く欄は無解答が多かった。また、理由の欄で一番多かったのは「縦と横の長さを足した長さが等しいので広さも等しい」で、周りの長さ=広さと捉えている児童が多いことが分かった。

5 指導観

指導にあたっては、以下の工夫を行う。

(1)主体的・対話的で深い学びに向けた指導の工夫

- ・実際に陣地取りマスターに取り組むことで、子供に「解決したい」「どうしたらいいんだろう」「自分の考えを伝えたい」という意欲や疑問を持たせる。
- ・「既習内容を使えば解けそうだ」という見通しを持たせることで、主体的に学習に臨めるようにする。
- ・図を使って自分の考えの理由をノートに書かせることにより、考え方の根拠を明確にさせる。
- ・どのような考え方で面積を求めたかを、図と式を結び付けて説明させる。
- ・練り合いの場面で、「単元をつらぬくアイデア（本質）」を活用して、お互いの考えの共通点や相違点についての意見交流を行い、目指す汎用的能力を育成できるようにする。

(2)振り返り場面の指導の工夫

- ・自らの学びを振り返り、授業を通して分かったことや考えたこと、成長したことを発表させる。

(3)児童の実態に合わせた指導の工夫

- ・実際に活動する事象を取り上げることで、子供達が単元をつらぬくアイデア（本質）の普遍性を実感できるようにする。

6 単元で育てたい資質・能力及び本単元の目標と評価規準

<本校で身に付けさせたい資質・能力>

本校で身に付けさせたい資質・能力		
資質・能力	めざす児童の姿	算数科での児童の姿
主体性	自分で考えて行動する児童	課題解決に向けて自分の考えや意見を進んで表現する姿。
論理的思考力	根拠を明らかにして、理由をつけて自分の意見を述べる児童	課題解決に必要なことを理解して、筋道を立てて考え、式・図・言葉を相互に関連付けて表現する姿。
自己理解	自分の学習活動について自分が出来ている事、出来ていない事が分かる児童	意見交流を通して「自分や友達の考えの良さ」や「自分の誤り」に気づき、表現したり、修正したりする姿。
自らへの自信	周囲との関わりを通して「自分の良さ」に気づく児童	振り返りの場面でお互いの考えの良さを伝える姿や自分の説明で他の児童を納得させる姿。（「なるほど」「そういうことか」「わかった」）

<単元で育てたい資質・能力と評価規準>

資質 能力	評価規準		
	I	C	E
主体性	面積の求め方について関心を持ち、自分で問題を解こうとしている。	面積の求め方を既習事項を使って考えようとしている。	面積を求める問題を解く時に、「単位面積のいくつ分」という考え方に気付き、他の問題でも積極的に活用している。
論理的 思考力	面積の求め方を式・図・言葉を使って表現している。	面積の求め方を算数カードを使ったり、友達の考えを使ったりして、分かりやすく表現している。	「単位面積のいくつ分」という「単元をつらぬくアイデア（本質）」を使って、本単元の全ての問題、またパフォーマンス課題に取り組み、日常生活の場面につなげて表現している。
自己理 解	練り合いの場面で、友達の質問に答えたり、友達に質問したりしている。	練り合いの場面で、友達の質問に答えたり、友達に質問したりする中で自分や友達の考えの良さに気付き、間違っていた場合は適切に修正している。	練り合いの場面で、友達の質問に答えたり、友達に質問したりする中で、どの考えも「単元をつらぬくアイデア（本質）」につながっていることに気付き、表現したり、修正したりすることができる。
自らへ の自信	振り返りの場面で、自分が分かったことを伝えている。	振り返りの場面で、自分が分かったことや、友達の考えの良さを伝えている。	振り返りの場面で、自分が分かったことや、友達の考えの良さを伝えるとともに、学習した「単位面積のいくつ分」の考えを実際の生活場面で生かしている。

<本単元の目標>

- (1) 面積の概念を理解し、面積の単位 cm^2 、 m^2 、 km^2 、 a 、 ha を知る。
- (2) 長方形や正方形の面積の公式を知り、それらを求めることができる。

<評価規準>

観点	評価規準
算数への関心・意欲・態度	長方形や正方形の面積を表すことに関心を持ち、長方形、正方形の面積公式を利用して、身の回りにあるものの面積を求めようとしている。
数学的な考え方	1辺が1cmの正方形の個数に着目して、長方形や正方形の面積の公式を考えることができる。
数量や図形についての技能	長方形や正方形の面積の公式を用いて、いろいろな図形の面積を求めることができる。
数量や図形についての知識・理解	面積の概念を知り、面積の単位 cm^2 、 m^2 、 km^2 、 a 、 ha が分かっている。また、長方形や正方形の面積公式を理解している。

<本校の振り返り場面でのICEルーブリック>

I（考え，基礎知識）	C（つながり）	E（応用，広がり）
・授業で分かったことを言うことができる。	・友達の考えを聞いて考えたことや新しく分かったことを言うことができる。	・授業を通して分かったことを、これからの学習や生活にいかそうとしている。

7 単元計画 (11 時間)

時	学習活動	観点			児童の思考の流れ	評価	
		関	考	技		知	◇評価規準
1	<p>課題の設定 本時の目標：単元課題を知り，学習の計画を立てよう。</p> <p>○広さ比べを通して，面積に関心をもつ。 ・陣取りゲームをしよう。 ・広さを比べてみよう。 ○学習計画を立てる。</p>	○				<p>・陣取りゲームで，どの形の陣地をとれば勝つことができるのだろう。 ・どうしたら面積を求めることができるのか知りたい。</p>	<p>◇陣地の広さの比べ方をいろいろ考えようとしている。(行動観察，ノート) ★課題解決に向けて，自分の考えや意見を進んで表現している。(行動観察，ノート) 【主体性】</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>(単元課題) 運動場で陣取りゲームをしましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ルール…2人で行う。じゃんけんで勝った方が1つ陣地をとることができる。自分の陣地に，自分で決めた色をぬる。最初の陣地は自由に選んでよいが，次は自分の陣地に隣り合う陣地をとる。5分後に面積の広い方が勝ち。</p> </div> <p>ゲームが終わった後，中崎先生の陣地は，右の図のようになりました。中崎先生の陣地の面積の求め方を，式・図・言葉を使って説明しよう。</p>  </div>							
2	<p>情報の収集① 本時の目標：面積の意味を理解しよう。</p> <p>○面積の普遍単位cm^2を知り，面積を求める。 ・アとイでは，どちらが広いか比べよう。 ・比べる方法を考えよう。 ○いろいろな形の面積を求める。 ○面積を方眼紙で作る。</p>			○	<p>・広さを比べるには，どうすればいいのだろう。 ・重ねて比べてみよう。 ・切ってみよう。 ・同じ単位で比べることはできないかな。 ・1辺が1cmの正方形が何個あるかで考えるとよい。</p>	<p>◇面積の普遍単位cm^2について知ることができる。(行動観察) ◇面積を求めることができる。(ノート) ★課題解決に必要なことを理解して筋道を立てて考え式・図・言葉を相互に関連付けて表現している。(発言，ノート) 【論理的思考力】</p>	
3	<p>情報の収集② 本時の目標：面積を求める公式を考えよう。</p> <p>○長方形や正方形の面積の公式を理解する。 ・エ(正方形)とカ(長方形)の面積の求め方を考えよう。 ・正方形の数を求める式とその式になるわけを発表しよう。 ○公式で問題を解く。</p>			○	<p>・エとカの広さを比べるにはどうしたらいいのかな。 ・1辺が1cmの正方形の数を数えて正方形の数が多い数の方が面積が大きいのかな。 ・正方形は，1cm^2が縦に○こ，横に○列分ならんでいるよ。 ・面積は，縦と横の長さが分かれば面積を求めることができる。</p>	<p>◇長方形や正方形の面積の公式を理解することができる。(行動観察，ノート) ◇公式を使って，長方形，正方形の面積を求めることができる。(ノート) ★意見交流を通して「自分や友達への考えの良さ」や，「自分の誤り」に気付き，表現したり，修正したりしている。(発言，行動観察) 【自己理解】</p>	
4	<p>整理・分析① 本時の目標：工夫して面積をもとめよう。</p> <p>○複合図形の面積を様々な考え方で求める。 ・シ(L字型)の面積の求め方を考え，説明しよう。 ○どの辺の長さが必要か考えよう。</p>	○			<p>・2つの長方形に分けると，面積が求められそう。 ・たてに分けよう。 ・よこに分けてもいいよ。 ・大きな長方形から小さな長方をひいて面積をもとめることもできるよ。 ・4カ所の長さが分かれば，面積を求めることができそう。</p>	<p>◇複合図形の面積を様々な考え方で求め，それを説明することができる。(発言，ノート) ★振り返りの場面でお互いの考えの良さを伝える姿や自分の説明で他の児童を納得させることができている。(行動観察，ノート) 【自らへの自信】</p>	
5	<p>情報の収集③ 本時の目標：大きな面積を求めよう。</p> <p>○面積の普遍単位m^2を知り，面積を求める。 ・学校の面積を求めよう。</p>			○	<p>・長さがmの時は，面積はどう表せばいいのかな。 ・1辺が1mの正方形を単位にすればよい。</p>	<p>◇面積の普遍単位m^2を知り，面積を求めることができる。(行動観察・ノート) ★意見交流を通して「自分や友達への考えの良さ」や「自分の誤り」に気付き，表現したり，修正したりしている。(発言，行動観察) 【自己理解】</p>	

6	情報の収集④ 本時の目標：1 m ² と1 cm ² のちがいを考えよう。 <input type="radio"/> 1 m ² は何cm ² なのか考えよう。 ・1辺を1 mとした正方形から予想しよう。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/> <ul style="list-style-type: none"> ・1 m²は、1辺が1 mの正方形の面積ということ、1辺が100cmの正方形の面積になるよ。 ・1辺が1cmの正方形が縦に100段、横に100列並んでいるよ。 ・1 m²=10000cm²と考えればよい。 	<input type="checkbox"/> m ² とcm ² の単位間の関係を理解できる。(発言、行動観察) <input type="checkbox"/> 長さの単位をそろえて計算ができる。(ノート) ★振り返りの場面でお互いの考えの良さを伝える姿や自分の説明で他の児童を納得させることができている。(発言、行動観察) 【自らへの自信】
7	整理・分析② 本時の目標：1 m ² を作ろう。 <input type="radio"/> 1m ² の面積づくりを通して、広さの量感を得る。 ・1 m ² の正方形をつくるには、新聞紙が何枚いるか予想しよう。 <input type="radio"/> 1 m ² には、何人乗れるだろう。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙4枚くらいかな。 ・机だったら何個おけるだろう。 	<input type="checkbox"/> 1 m ² の広さを調べる活動に関心をもって取り組もうとしている。(行動観察) ★課題解決に向けて、自分の考えや意見を進んで表現している。(発言、行動観察) 【主体性】
8	情報の収集⑤ 本時の目標：もっと大きな面積を求めよう。 <input type="radio"/> 面積の普遍単位km ² を知る。 ・長さがkmのときは、どう表せばいいのか予想しよう。 ・1 km ² は、何m ² になるか話し合おう。 <input type="radio"/> 面積を求めよう。 ・学級園の面積を求めよう。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/> <ul style="list-style-type: none"> ・m²の時は、1辺が1 mの正方形の数を数えたよ。 ・km²だから、1辺を1 kmの正方形にすればいいのか。 ・1 m²=10000cm²だから、1 km²は何m²になるのかな。 ・学級園の面積もどれくらいか知りたいな。 	<input type="checkbox"/> 面積の普遍単位a, haを知り、面積を求めることができる。(ノート) <input type="checkbox"/> 面積の単位間の関係を理解している。(発言、行動観察) ★課題解決に必要なことを理解して筋道を立てて考え式・図・言葉を相互に関連付けて表現している。(発言、ノート) 【論理的思考力】
9	情報の収集⑥ 本時の目標：新しい面積の単位について考えよう。 <input type="radio"/> 面積の普遍単位a, haを知り面積を求めよう。 ・1辺が10mの正方形の面積を1 aという。 ・1辺が100mの正方形の面積を1 haという。 <input type="radio"/> 面積の単位間の関係を理解しよう。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/> <ul style="list-style-type: none"> ・1辺が1 mの正方形の面積を1 m²、1辺が1 kmの正方形の面積が1 km²だったよ。 ・aとhaを使って、面積を表すにはどのように考えたらいいのか。 ・1 a=100m²、1 ha=10000m²になるよ。 ・600m²=6 aだね。 	<input type="checkbox"/> 面積の普遍単位a, haを知り、面積を求めることができる。(ノート) <input type="checkbox"/> 面積の単位間の関係を理解している。(発言、行動観察) ★課題解決に必要なことを理解して筋道を立てて考え式・図・言葉を相互に関連付けて表現している。(発言、ノート) 【論理的思考力】
10	まとめ・創造・表現・振り返り① 本時の目標：単元課題に挑戦しよう。 <input type="radio"/> 学習してきたことを活用して、単元課題を解決しよう。 ・先生の陣地の面積を考えよう。 ・どのようにして面積を求めたか説明しよう。	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・今までのやり方でできるかな。 ・単位は何になるだろう。 ・1辺が1 mの正方形がいくつ分になるのかな。 ・式と図をつなげて説明しよう。 ・どんな言葉で説明したらいいだろう。 	<input type="checkbox"/> 陣地の面積を、単元を貫くアイデア(本質)を使って解き、考えを説明することができる。(行動観察、ノート) ★意見交流を通して、友達と自分の考えを比べて、自分の考えを理論的に表現することができる。(行動観察、ノート) 【自己理解】 【論理的思考力】
11	まとめ・創造・表現・振り返り② 本時の目標：パフォーマンス課題に挑戦しよう。 パフォーマンス課題 <input type="radio"/> パフォーマンス課題を解き、単元について振り返ろう。 ・自分たちの陣地を計算しよう。		<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元課題や今までの学習で使ったアイデアが使えないかな。 ・単元課題よりもわかりやすく説明しよう。 ・できなかったから、できるようにしよう。 	<input type="checkbox"/> パフォーマンス課題を解くことができている。(パフォーマンス課題) ★振り返りの場面でお互いの考えの良さを伝える姿や自分の説明で他の児童を納得させることができている。(発言、パフォーマンス課題) 【自らへの自信】

8 パフォーマンス課題

中崎先生と高石先生は陣地取りゲームをしました。

ルール・・・2人で行う。
 じゃんけんで勝った方が1つ陣地をとることができる。
 自分の陣地に、自分で決めた色をぬる。
 最初の陣地は自由に選んでよいが、次は自分の陣地に隣り合う陣地をとる。
 5分後に面積の広い方が勝ち。

ゲームが終わった後、高石先生と中崎先生の陣地は、右の図のようになりました。

どちらの陣地が広いでしょう。式・図・言葉を使って説明しよう。(青・・・高石先生、赤・・・中崎先生)
 そして、負けている先生が逆転するには、どの陣地を取ればいいのかを説明して下さい。

9 パフォーマンスの評価基準

1	2	3
<ul style="list-style-type: none"> どちらの陣地が広いかを正しく求められない。 	<ul style="list-style-type: none"> どちらの陣地が広いかを単元をつらぬくアイデア（本質）を活用して求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> どちらの陣地が広いかを算数カードや式・図・言葉や単元をつらぬくアイデア（本質）を活用して求めることができる。 さらに、残った中でどの陣地を取れば逆転できるかを提案することができる。

10 本時の展開

- (1) **本時の目標** 陣地の面積を、単元を貫くアイデア（本質）を使って解き、考えを説明することができる。
- (2) **準備物** 陣地ゲームのワークシート（児童用）、問題文
- (3) **本時の展開**

授業のポイント！【全体交流】

- ① 単元課題の提示の仕方を工夫する。
- ② 自力解決や集団解決では、単元をつらぬくアイデア（本質）を活用して、自分の考えを式・図・言葉などを用いて分かりやすく説明させることで、練り合いを深めさせる。
- ③ 授業を通して分かったことや友達の発表を聞いて考えたこと、自分の成長などについて、ICEループリックを活用して振り返らせる。

学習過程（10 / 11）

学習活動	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点 ◆児童への支援	評価規準 (評価方法)
1 つ か む ⑤	<p>1 本時の課題を知る。 C：今日の問題を言います <small>じんち</small> 運動場で陣地取りゲームをしましょう。 ルール・・・2人で行う。じゃんけんで勝った方が1つ陣地をとることができる。 自分の陣地に、自分で決めた色をぬる。 最初の陣地は自由に選んでよいが、次は自分の陣地に隣り合う陣地をとる。 5分後に面積の広い方が勝ち。</p> <p>ゲームが終わった後、中崎先生の陣地は、右の図のようになりました。 中崎先生の陣地の面積の求め方を、式・図・言葉を使って説明しよう。</p>		

○児童が「解きたい。」と思えるような単元課題の提示をする。
(写真や映像、実際に行う活動など)

○主体的な学び

◆情報の提示の仕方を工夫することで、児童が興味・関心をもって学習できるようにする。

2
さ
ぐ
る
⑩

2 自力解決をする。
C : さぐりましょう。

⑦横くぎり

$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & 3 \times 2 = 6 \\ & 2 \times (3 + 2 + 3) = 16 \\ & 5 \times 2 = 10 \\ & 6 + 16 + 10 = 32 \\ & \underline{32 \text{ m}^2} \end{aligned}$$

⑧縦くぎり

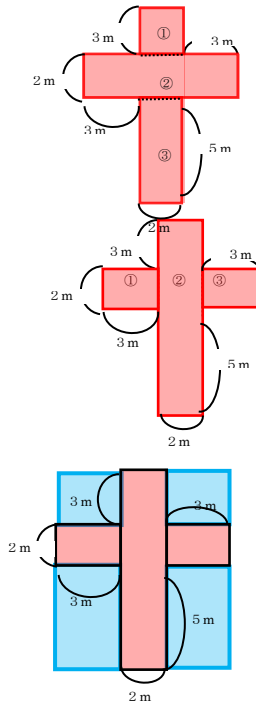
$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & 2 \times 3 = 6 \\ & 6 \times 2 = 12 \\ & (3 + 2 + 5) \times 2 = 20 \\ & 12 + 20 = 32 \\ & \underline{32 \text{ m}^2} \end{aligned}$$

⑨つぎ足した部分を全体から引く

$$\begin{aligned} \text{(式)} \quad & \text{全体 } 3 + 2 + 5 = 10 \\ & 3 + 2 + 3 = 8 \\ & 10 \times 8 = 80 \\ & (3 \times 3) \times 2 = 18 \\ & (5 \times 3) \times 2 = 30 \\ & 18 + 30 = 48 \\ & 80 - 48 = 32 \\ & \underline{32 \text{ m}^2} \end{aligned}$$

⊕ 1 m²がいくつかの考え方が分からない

⊖ 考えが書けない



・問題場面を捉えさせるために、さし絵を使って問題把握をさせる。

・演繹的に説明をさせるために、求める面積は1 m²のいくつ分なのかを図で表現させ、考えさせる。

・結果が出たら、問題に戻り、自分の考えを点検させる。

・自分の考えを友だちによく分かるように説明できるようにするために、ノートに説明を簡単に書かせる。

・考えがかけない児童には方眼のワークシートで考えさせる。

・結果が出たら、問題に戻り、自分の考えを点検させる。

3
ね
り
あ
う
⑫

3 考えたことをもとに、話し合う。

T : どのように考えましたか。わけも発表しましょう。

○ノートに書いた自分の考えを、言語技術を用いて、分かっていることと求めることを明確にして式・図・言葉で友達に分かりやすく説明し、意見を交流する。

T : どのように考えましたか。わけも発表しましょう。

① 中崎先生の陣地は32 m²です。そのわけを図で説明します。僕は横に区切って考えました。横に区切ると3つの長方形、正方形①②③ができます。

まず、①の面積は、縦3m横2mなので3×2をします。つぎに②は横の長さを足して求めます。3+2+3=8横8mで、2×8をします。

さいごに③の面積は、縦5m横2mなので5×2をします。だから、6+16+10=32 (m²)です。

② 違って、僕は縦に区切って考えました。縦に区切ると3つの長方形、正方形①②③ができます。

まず、①の面積は、縦2m横3mなので2×3をします。これは③と同じです。だから①の面積に2をかけました。①と②をあわせて12 (m²)です。

次に②は縦の長さを足して求めます。3+2+5=10

縦10mで、10×2をします。

だから、12+20=32 (m²)です。

③ 私は全体からつぎ足した部分を引いて考えました。

まず、全体の面積を求めます。縦10m横8mなので、80 m²です。次に、引く部分の面積を求めます。4つの部分の面積を足して48 m²です。

だから、80-48=32 (m²)です。

○対話的で深い学び合い
(練り合いの充実)

・ノートに書いた自分の考えや、友達の意見を参考にし、全体場で自信をもって発表させる。

・練り合いの場面では、「単元をつらぬくアイデア (本質) はどこか。」「どこまでが分かって、どこから分からないか。」を意識して、友達の発表を聞くように指導する。

・疑問や補足に加えて、本単元で学習してきた1 m²×何個分の考えを掲示物で想起させ、本時はどんな式にすればよいかを考えさせることで本単元を貫くアイデアに気付かせる。

4 ふ り か え り ⑤	<p>・①と②は区切って考えていたけど、③は全体からいらぬ面積を引いて考えているところが違います。 ・どの考えも 1 m^2 のいくつか分かをつかって求めています。</p> <p>4 振り返りをする。</p> <p>○ ICEルーブリックを活用して、本時の授業を振り返る。 C : 今まで習ったことを使って説明ができました。そのわけは 1 m^2 が何個分かで考えたからです。 C : 僕たちも陣地取りゲームをして、素早く計算したいです。</p>		<p>◇陣地の面積を単元をつらぬくアイデア (本質) を使って解き考えを説明することができる。 (行動観察, ノート)</p>
		<p>○深い学び合い (振り返りの充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ICEルーブリックを活用して、本時の授業を振り返り、自己の成長やできるようになったことを発表させる。 	<p>★意見交流を通して、友達と自分の考えを比べて、自分の考えを理論的に表現することができる。 (行動観察, ノート)</p>

(4) 板書計画

十字の面積を求める

振り返り 横区切りとたて区切りをすればよい。

全部区切る

$3 \times 3 + 3 \times 2 + 2 \times 3 = 32\text{ m}^2$

横区切り

① $3 \times 2 = 6$
② $2 \times (3 + 2 + 3) = 16$
③ $5 \times 2 = 10$
 $6 + 16 + 10 = 32 = 32\text{ m}^2$

④

- 横に区切る
- 3つの面積を求める
- ①+②+③をする

たて区切り

① $2 \times 3 = 6$
 $6 \times 2 = 12$
② $(3 + 2 + 5) \times 2 = 20$
 $6 + 20 = 26 = 32\text{ m}^2$

④

- ①の面積を求める
- ②の面積を求める
- ①と②をたす

全体から引く

式 全体 $3 + 2 + 5 = 10$
 $3 + 2 + 3 = 8$
 $10 \times 8 = 80\text{ m}^2$
 $(3 \times 3) \times 2 = 18$
 $(5 \times 3) \times 2 = 30$
 $18 + 30 = 48$
 $80 - 48 = 32 = 32\text{ m}^2$

- 全体の面積を出す
- 黄色以外のものを引く
- 全体から引く